



第416号

2024年2月7日

J R **よなご**  
西労組 west japan railway trade union - YONAGO

西日本旅客鉄道労働組合  
米子地方本部

発行責任者 大川 達也  
編集責任者 平新 直大

**伯備線触車事故から18年  
事故を風化させない取り組みを誓う**

2024年1月24日(水)、伯備線触車事故から18年が経過した。  
当日は前日からの雪の影響で、一部エリアで運転見合わせなどもあったが、「安全の集い」「安全碑献花」を開催した。  
冒頭大川委員長より、地方本部は事故以降において、様々な形を変えながらも、この事故を絶対に忘れないとの強い想いで、この日を「安全の日」と位置付けて、安全に特化した集会と献花式を継続している。何気なく当たり前な日常生活を不変なものとするために、労働組合として後輩たちに過去の事故の悲惨な経験を語り続けなければならぬ、と挨拶を述べた。  
「安全の集い」では、「JR西労組・JR西日本連合安全お守り手帳」を活用したディスカッションを行い、参加者全員で伯備線触車事故を振り返るとともに、安全に対する思いを共有した。参加者から、改めてルールの大切さを理解でき、愚直に守つていくなど多くの意見がでた。

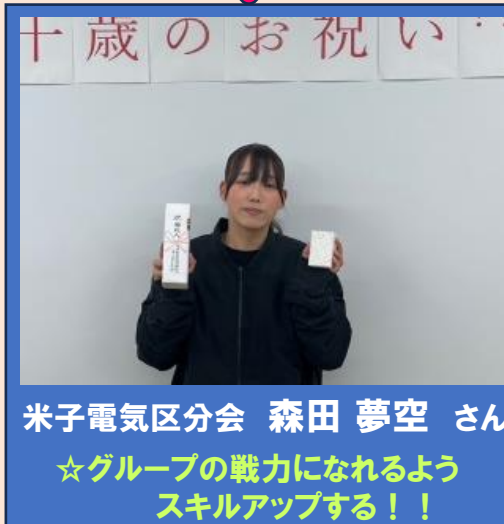


**安全の誓い**  
平成十八年一月二十四日十三時六分頃  
伯備線米子駅、武庫川において列車が  
進出した際、踏切を渡る列車が  
発生しました。  
この事故で尊い命をなくされた三名の  
社員に哀悼の意を表し、謝罪の意を込めて  
社員に反省と教訓を深く心に刻み、全社員  
事故の反省と教訓を深く心に刻み、全社員  
一丸となって更なる安全性の向上に継続して  
取り組みを誓います。  
平成十九年十一月  
西日本旅客鉄道株式会社  
米子支社

また来賓として米子市議  
会議員である中田市議も  
デイスカッションに参加  
していただき、周りがミ  
ズに気付いても、言い合  
いにくい雰囲気ではミ  
スを防ぐことは出来ない。  
だからこそ日頃のコミュ  
ニケーションが重要。何  
も言える・言い合える雰  
囲気をつくって欲しいと  
述べられた。  
場所を移し、献花式を行  
う為、安全碑を訪れました。  
冒頭、亀山書記長から、  
「事故が発生させた当該地  
本として、改めて命の尊  
さを心に刻み、悲惨な事  
二度と起こさせない決意  
を安全碑の前で誓う」と述  
べ、事故発生時刻の13時  
18分に亡くなられた3  
名の仲間に対し哀悼の誠  
を捧げ黙祷を行った。そ  
の後参加者で安全碑に献花  
を行い、「働く者の安全確  
保なくして、鉄道の安全運  
行は成し得ない」との認識  
の下、更なる安全風土の  
築に努めていくことを改  
めて参加者全員で誓いま



**「二十歳」おめでとうございます**



今年度に二十歳を迎える4名の組合員を対象に、各分会より記念品が贈呈されました。  
若さ溢れるパワーを活かし今後の皆さんの活躍を期待しています！！

引き続きJR西労組の活動への参加  
よろしくお願い致します！！